

～ やさしく・かしこく・たくましく ～



馬宮っ子

3月号 令和2年2月28日

NO. 13 さいたま市立馬宮東小学校

さいたま市西区大字西遊馬189-1

TEL 048-624-4452

FAX 048-624-2247



◇合言葉：《あいさつと元気がある馬宮東小学校》Webページ<http://mamiyahigashi-e.saitama-city.ed.jp/>

経験と実感

校長 佐野 公子

暖かな晴天の日が続き、辺りはすっかり春の様相で、子どもたちも進級・進学を意識しながら学習や生活のまとめをしています。

校舎3階の廊下に「4年生の覚悟」という掲示物が貼ってありました。4年生が高学年になる心構えを一人ひとり書いたものです。「優しく、頼りにされる高学年になりたい」「自分が低学年の時に優しくしてくれた高学年の人のようにになりたい」という思いが書かれていました。自分自身が経験したことというのは、一層思いを強くするのだということを改めて感じました。

先日、「経験と実感」が子どもを大きく成長させる契機になる場面を目にしました。

一つ目は、本校に地域の方をお招きして給食を召し上がっていただく「菜の花ふれあい会」の時のことです。5、6年生が、学年閉鎖をしていたので4年生がおもてなしをしました。感謝の気持ちを込めて4年生が歌を披露すると、感動の涙を流してくださった方がいました。

二つ目は、業間遊馬学校の講師連絡会「感謝のつどい」の時のことでした。3年生が国語の授業で学んだことを紹介し、6年生が合唱をして感謝の気持ちを伝えました。この時も何人もの方が感動して下さいました。

いずれの場面においても、子どもたちは自分たちの感謝の気持ちを伝える場面でそれぞれの学びの成果を披露し、立派にその任を務めることができました。教師が「上手にできました」と言ってもなかなか伝わらない思いが、見て下さった地域の方のご様子から実感でき、子どもたちは達成感を味わい、成長につなげることができました。そして、感謝の気持ちを伝えることの大切さを改めて学ぶことができたように思います。

学校教育においては、年間指導計画を作成し、それに則って意図的、計画的に授業を行います。そこに地域の方との交流を位置付けることで、様々な「経験」と「実感」を繰り返すことができ、子どもたちは一層豊かに成長することができるのだと思います。この地で地域の皆さまと関わりながら温かく育てていただき、馬宮の未来を創る思いを一層強くして羽ばたいていってくださることを願っています。令和の時代の最初の年、自分が馬宮東小学校で学んでいたことは子どもたちの心にいつまでも残ることでしょう。

結びになりますが、本年度の教育活動への保護者、地域の皆さまのご支援に心から感謝申し上げます。来年度も変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

スクールゾーンについて

昨年度当初、宿東間、二ツ宮地区の皆さまには、児童の安全な登校に向け、JA 前から馬宮中学校までの通学路へのスクールゾーン設置に向けた署名活動へのご協力をいただきました。おかげさまで認可が下り、3月上旬より路面標示の工事が始まるとの連絡を受けました。ご協力いただきありがとうございました。路面標示完成後、運用に入るとのことです。